

「亀戸・大島の開発」



歌川広重「大島羅漢寺」周辺

概説

江東の歴史 (7)

亀戸と大島の境に豎川が掘られたのは1659年からのことです。徳山五兵衛重政と山崎四郎左衛門重政が本所奉行になると、墨田川から中川の逆井まで約5キロにわたり河川を掘り、水運の便をはかるとともに、その揚げ土で低地を埋め立てました。

この川は江戸城からみて豎に通っているので豎川と名づけられ(大横川、横十間川と交差)、西から一の橋から四の橋があって、今の五の橋の所は渡し舟でした。この北岸に沿って「佐倉道」がつくられて現在は「旧千葉街道」と呼ばれています。

亀戸村は1644年頃には2229石余のかなり発達した村でしたが、武家屋敷や寺社が移ってきたので1254石に減りました。しかし亀戸天神の門前町、豎川と横十間川の交差点の清水町、普門院と光明寺の西側の境町を中心に栄えました。当時、十三間通りは福神橋に通じる一条の堀でした。

大島は未開拓の土地が散在する農村でした。初めに小名木四郎兵衛(小名木川をつくったともいわれる)が川に沿って小名木村を開き、枚方某なる人が今の3丁目から9丁目にかけて枚方(平方)村をおこしました。深川や亀戸の都市化が進み、耕地を求める人々がここに出村をつくりました。1690年代に大島という地名が初めてあらわれます。

大島1丁目には1624年頃、釜屋六右衛門と七右衛門が釜六と釜七という鋳物業をいとなみ、このあたりの横十間川を釜屋堀と呼びました。また、3丁目には1695年に羅漢寺がつくられて、等身大の五百羅漢がおかれて江戸名所となりました。それは明治の後に目黒区に移転されています。

江東・国民春闘学習集会

江東地域での闘う春闘スタート!

2月15日、文化センターで江東国民春闘共闘委員会・学習集会が開催され、17労組60名が参加しました。新野江東区労連議長の挨拶のあと清水事務局長から消費税増税反対、原発ゼロ社会をめざし、雇用と仕事の確保、賃上げ、社会保障拡充で、内需中心の経済、震災復興を実現するため闘う「春闘行動計画」と役員体制が提案されま



した。東京土建、アサガミプレスセンター労組、区職労、癌研労組、都障教組からは、とりくみの発言があり、交流が行われました。記念講演に立った日本大学名誉教授の永山利和氏は「日本経済の現状と2012年春闘の課題」と題し講演し、「二大政党の破たんから橋下・維新の会グループの新右派勢力による第三極形成の危険な動きが強まっている。このネオ・ファシズム政党登場の流れに対峙し闘うことが重要な課題。政府・財界の消費税増税、『社会保障と税の一体改

革』など国民・労働者にしわ寄せをするごまかしの日本経済危機論に騙されず、国民経済・国民生活優先の政策に転換させるため春闘で頑張りましょう」と組合の闘いを激励しました。最後に春闘行動計画と役員

体制が大きな拍手で確認され、団結がんばろうの力強い唱和りました。都立墨東病院を直営で存続させる会・第三回総会 都立病院は都民の最後の命綱!



講演する前沢淑子氏

2月10日、都立墨東病院を直営で存続させる会は、総合区民センターにて第3回総会を開催しました。理事長に権限が集中することになります。その結果、議会のチエックが大きく後退し、救急医療、小児、周産期、精神や難病医療など、採算に合わない医療は維持できなくなる恐れがあります。講演を行った東京社会保障推進協議会事務局長の前沢淑子さんは「社会保障の分野で、いま国や都が実施しようとしているのは、自助・共助・互助を強調し、憲法25条を否定すること(国・自治体の責任の放棄)。都立病院の独立行政法人化もその流れ。私たちの草の根の世論を広げて、大きく包囲していきましょう!」

石原知事は就任直後「都立病院はいらぬ」と発言。これまで8病院が廃止・統合されています。墨東病院は独立行政法人化が狙われ、都立病院改革の新しいマスタープランの策定が計画されている都議会第一回定例会・第二回定例会が最大の山場となっています。独立行政法人となれば、知事が理事長を任命し、知

宣伝・署名行動 3月17日(土) 14時 錦糸町南口

と呼び掛けました。会場からは直営での存続を求める陳情をめぐっての墨田区議会での審議の様子(墨田区議会では不採択、江東区議会・江戸川区議会では審議未了となっている)や現在の墨東病院の実態、被災地で目の当たりにした医療の問題など発言がありました。総会では、毎月、病院前や錦糸町駅・亀戸駅・新小岩駅前での宣伝・署名活動に、のべ961人が参加したことなど活動報告が行われ、都議会第二回定例会までに1万筆の署名を集めようという行動提起が行われました。

行事日程 2月28日(火) 18時45分 「怒りの地域総行動区民集会」 江東大運動実行委員会 3月5日(月) 18時30分 「江東革新懇総会」 江東文化センター(視聴覚室) 3月10日(土) 13時 「東京大空襲を語り継ぐつどい」 亀戸カメリア(ホール) 3月13日(火) 18時30分 「江東社会保障推進協議会総会」 東京土建江東支部会館 3月15日(木) 18時30分 「江東春闘集会」 猿江公園 3月20日(火・祝) 10時 「江東母親大会」 江東区総合区民センター

後援会員の要求にもとづく、楽しい後援会活動に取り組むには? 選挙での躍進をめざす 後援会活動の学習・交流会 とき 3月11日(日) 13時30分~15時30分 ところ 江東区文化センター(2階・展示室) プログラム 講演:千葉治男(全都後援会事務局長) 各後援会活動の経験交流 主催:日本共産党江東地区委員会・同江東区後援会